



学校便り 2月号

山口市立嘉川小学校 (平成29年1月27日発行)

〒754-0897 山口市嘉川4986番地 ☎ 083-989-2206

めざす児童像 「かへんがえる子」「かばんばる子」「わかりあう子」

「^{ふしめ}節目の時を迎えて」

「冷ゆることの至りて甚だしきときなれば也」といわれるこの時期、まだまだ寒さの厳しい日が続いています。しかし、窓から入る太陽の光が何かしら輝きを増してきたり、木々の芽が「もう少し暖かくなれば、芽を吹くぞ。」と語りかけたりしているように感じます。

さて、2月3日は節分の日です。「節分」は本来、季節の移り変わる時の意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指しています。その中で立春が1年の初めと考えられることから、「節分」といえば春の節分を示すものとなってきたそうです。また、節分に「豆まき」をされるご家庭もあるかと思えます。節分に豆まきをするのは、季節の変わり目に邪気(じやき)が入りやすいと思われていて、新しい春を迎える前に邪気を払って幸福を呼び込むために宮中祭祀として行われていたものが始まりだそうです。私たちの心の中にある「後先を考えずに行動してしまう鬼」や「自分だけがよければよいという鬼」。そんな鬼をがんばって退治し、みんなが幸せな一年になることを願っています。

ところで、節となる時や事柄を「節目」といいます。新しい年がスタートして1ヵ月が経ちました。3学期、2月は、子どもたちにとって、次の学年や中学校への進級・進学の前月という節目を迎えるための心構えをつくる大切な時期です。子どもたちに、これまでの自分、今日からの自分、そして、4月からの自分、それぞれの自分の姿をはっきりとイメージしてほしいと願います。人が成長するとは、過去・現在・未来の自分を意識できるようになるということです。そうすれば、生きていく中で出会う様々な人や出来事に柔軟な対応ができたり、失敗もするけれど立ち直ったりすることも早いと思います。

最後に、今年の干支は酉で、大きな変化のある年だといわれています。子どもたちが、ふるさとを大切に、豊かな心をもって、たくましく生き抜くことができる力を育むために、保護者や地域の皆様とともにある学校づくりを進めていきます。保護者や地域の皆様、引き続き、ご支援とご協力をお願いいたします。

あいさつこだまプロジェクト 標語紹介

- ☆1年中 あいさつあふれる 町づくり
- ☆おはようと その一言で うれしいな
- ☆あいさつで みんなの心に 笑顔咲く



三つ葉保育園前